

**東海大学医学部付属病院では、研究分担施設で血液透析を受けている
患者さんから得られた試料や診療情報等を共同研究機関に提供して
下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。

当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

透析患者における骨代謝と副甲状腺ホルモン（PTH）感受性：日本とヨーロッパの比較研究

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、わが国で血液透析を受けている患者さんとヨーロッパで血液透析を受けている患者さんを比較することを目的とした多施設共同研究です。

【研究の対象となる方】

臨床研究「東海透析コホート研究（前向き）」に参加された方です。

※本研究は、2012年～2015年の3年間を観察期間とする臨床研究です。

※下記の施設で血液透析を受けており、参加に同意された患者さんを対象としています。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2022年3月31日 まで

（調査対象期間：2012年8月31日 から 2020年6月1日 まで）

（登録期間：2012年8月31日 から 2015年8月31日 まで）

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・ 試料：血清
- ・ 診療情報：年齢，性別，原疾患，透析歴，身体所見，併存疾患，検査結果，薬剤など

【情報の提供先・提供方法】

骨代謝マーカー，尿毒症物質を測定するために，匿名化された試料（血清）を研究分担施設であるルーヴェン大学病院（ベルギー）に輸送します。また匿名化された診療情報を電子的配信で共有します。

【利益相反に関する事項】

この研究は，特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- ・ 研究代表機関：東海大学医学部附属病院
- ・ 研究代表者：腎内分泌代謝内科 准教授 駒場 大峰

【研究分担施設】

ルーヴェン大学病院，くらた病院，えいじんクリニック，望星平塚クリニック，望星大根クリニック，本厚木メディカルクリニック，誠知クリニック，秦野南口クリニック，腎健クリニック，茅ヶ崎セントラルクリニック

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属病院（電話：代表 0463-93-1121）

腎内分泌代謝内科 准教授 駒場 大峰